



# 年次報告書2022



飢餓から救う。 SAVING LIVES CHANGING LIVES 未来を救う。



# 希望の灯を 消さない

この先の道は険しく、 飢餓は増加の一途をたどっています。 しかし確かなことは、 私たちが力を合わせれば命を救えるということです。

―― 国連WFP シンディ・マケイン事務局長

私たちは、食料こそが 平和への希望をつなぐと 信じています。

「食料支援が世界平和の源になる。」 皆様の継続的なご支援に 深く感謝申し上げます。



国際連合世界食糧計画 WFP協会会長 安藤 宏基

2022年は「ウクライナ緊急支援」へ皆様からの多大な 善意を頂戴し、厚く御礼申し上げます。未だ戦争終結 が見えないなか、国連WFPは引き続き支援活動を行 います。また、2023年2月6日に発生したトルコ・シリア 地震の被災者300万人以上(2023年3月時点)に対して も食料を配布しています。一方、年間の支援者は飢餓 人口約8億2,800万人に対し約1億5,800万人で、十分 に支援が行き届いていないという現状があります。さ まざまな要因で飢餓に苦しむ人へ、確実に支援を届け ることが私たちの責務と考えています。引き続き、皆様 からの温かいご支援を心よりお願い申し上げます。

### CONTENTS

Message1	未来を救う。ChangingLives·····13
Feature1 食料危機 ······3	国連WFP協会の取り組み17
Feature2 ウクライナ支援·····5	企業・団体からのご支援23
Highlight2022 ·····7	ご寄付をいただいた企業・団体の皆様28
国連WFPの支援実績と主な活動9	決算報告29
飢餓から救う。Saving Lives ······11	役員一覧・国連WFPを応援する著名人 ····· 30

# 今、世界の飢餓は かつてない水準にあります。

# 一飢餓人口は8億人を超え、今も増え続けています。

現在、世界では8億2,800万人の人びとが飢餓に苦しんでおり、2022年は過去最高となる3億4,900万人が急性の食料不安に直面しました。この数は2019年の1億3,500万人から拡大しており、3年で2億人増加しています。さらに90万人以上が飢餓の中でも最も深刻な飢きんに近い状態にあり、5年前と比較して10倍と憂慮すべき割合で急増しています。国際社会はSDGsで掲げた「2030年までに飢餓と栄養不良をなくす」という約束を反故にしてはならないのです。

66 今年は食料が買えないことが 問題だったが、 来年は世界の人口を養うための 十分な食べ物がない状況に 陥る可能性がある。99

世界の食料庫——ウクライナの危機によって 飢餓要因はさらに複雑さを増し、 深刻な飢餓が拡がっています。

飢餓は、気候危機や紛争、物価の高騰など、複数の要因が重なって起きています。とりわけ近年は、新型コロナウイルス感染症が状況を急速に悪化させました。さらに世界有数の農産物輸出国であるウクライナでの戦争が、食料危機に拍車をかける形になりました。その結果、南スーダンやイエメンをはじめ、各地に"飢餓のホットスポット"が生じています。

#### 飢餓要因の複合化



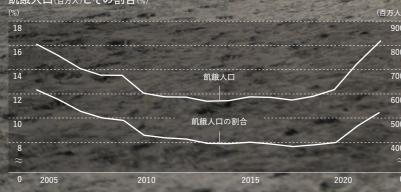
+

ウクライナ戦争

66 オデーサ地域の港を再開できなければ、 それは世界の食料安全保障に対する戦争を 宣言するも同然です。

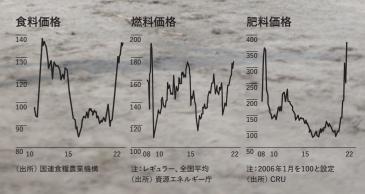
「世界の食料安全保障と栄養の現状2022(SOFI)」の統計によると、世界の飢餓人口は新型コロナウイルス感染症のパンデミック以降2021年までに1億5,000万人増加しました。うち45カ国・5,000万人が飢きんの一歩手前にいると考えられます。また、健康的な食事に手の届かない人に関しては、2020年になんと約31億人に達しています。
※この報告書は毎年、前年の飢餓人口を発表します。

#### 飢餓人口(百万人)とその割合(%



世界は、飢餓をさらに深刻化させる 3つの価格高騰という 新たな脅威に直面しています。

事態を深刻化させているのが、3つの価格高騰です。ウクライナ戦争に伴って穀倉地帯である黒海沿岸からの輸出が滞り、「食料価格」が高騰したほか、石油価格の上昇によって「燃料価格」も高騰。さらに天然ガスの価格上昇などで「肥料価格」も高値となりました。これによって国連WFPの支援活動にかかるひと月のコストも、2019年と比較して7,500万ドル(2022年12月時点)も増加しました。



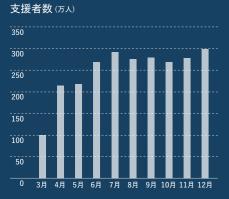
WFP/Sayed Asif Mahmud

国連WFP協会 年次報告書2022

# ウクライナの今と未来を 多岐にわたって支援。

-これまでに13億食相当の食料、1,000万人を支援しています。

2022年2月、ウクライナでの戦争が開始された直後から国連WFPは迅速に 支援を開始し、これまで1,000万人以上に食料と現金による支援をしてきま した。また、封鎖された黒海の港の開放を要請し、同年8月から穀物輸送が 再開。これによってウクライナ経済と世界の食料危機の緩和に貢献しました。









#### 3月に食料支援開始

2022年2月24日、ウクライナ戦争が勃発。国 連WFPは、ウクライナ国内と近隣諸国に避 難する人びとへ食料支援を開始し、最初の支 援物資400トンが3月3日、ルーマニア・ポー ランド・ウクライナの国境に向かいました。

# 国内・周辺国の 避難民に食料支援

紛争下での豊富な経験を持つ国連WFPチー ムは、ウクライナ近隣諸国に拠点を設置し、国 内外の避難民を支援。2023年1月時点で累計 15万5,000トンの食料と、4億2,000万米ドルの 現金・食料引換券での支援を実施しました。

## 戦争激しい東部で 食料支援、事前備蓄

東部をはじめ激しい戦闘にさらされる戦争の ホットスポットへ食料ライフラインを確立するこ とに注力。前線が日々移動するなか時間と戦 いながら、通常支援から切り離される可能性の ある地域への食料配備にも取り組んでいます。

### 黒海の港の開放を要請 黒海穀物イニシアティブを締結

BRAVE COMMAND

世界有数の穀物地帯からの輸出を担う港が 封鎖されたことで、世界の食料危機はより深 刻になりました。その後、黒海穀物イニシア ティブの合意によって港は開放され、飢きんの 拡大の緩和とウクライナ経済に貢献しました。

## 農地の地雷除去 農家再開を支援

ウクライナの多くの耕作地では、地雷と戦争の 残骸が散乱し、それらは日々増え続けています。 そこで国連WFPは他の機関と協力し、地雷除 去作業を支援。世界中の4億人を養える同国 の農業生産力の維持・回復に努めています。

# 通信・物流を通じ 人道支援コミュニティを支援

国連WFPは、包囲された地域に物資を届ける 輸送隊を主導するなど、戦争の影響を受ける もっとも脆弱な人びとの支援を担ってきまし た。また、物流や情報通信など、人道支援機関 が共同使用できる資源などを提供しています。

# Highlight2022

# "絶望の淵"に瀕する世界中の人びとに 食料支援という救いの手を差し伸べています。

新型コロナウイルス感染症の拡大や各地での紛争が影響し、2022年には地球上で10人に1人が飢餓に苦しみ、数千万人に飢きんが迫っているなど不安定化の一途を辿っています。国連WFPは、飢きんを未然に防ぎ、人びとを飢餓の淵から遠ざけるために24時間体制で活動しています。





2万人以上のスタッフが世界中で活動しています!



気候

危機

/Richard Mbouet © WFP/Ma

© WFP/Rein Skulle

#### マダガスカル

# サイクロンの大被害に対しすみやかに緊急支援を実施

2月、マダガスカル中東部沿岸にサイクロン「バチライ」が上陸。強風と豪雨、洪水により緊急に支援を必要とする人は2月末時点で27万人を超えました。国連WFPは有事の際に迅速に対応できるよう、事前に50トンの食料を当地へ配置しており、それを政府と連携して主要都市に配備することで、10日間で約1万人(2,000世帯)の支援を実行しました。あわせて、被害を受けた人びとに食料と現金の援助を届けるために急行し、緊急対応への後方支援も実施しました。



Razanajafy Tsiafara Bruno

# ソマリア・エチオピア

# 干ばつに苦しむ"アフリカの角"で過去最大規模の支援を展開

ソマリアやエチオピアが位置するアフリカの角と呼ばれる地域は、過去40年間で最悪の干ばつに苦しみ、そこに国内の紛争とウクライナ戦争も影響し、このまま干ばつが続けば飢餓が2,000万人規模まで広がるおそれがあります。国連WFPは現地パートナーと協力し、子ども用の特別栄養食品と、モバイルマネーや商品券を通じた食料の配給、保健・栄養サポートなど、同地域でこれまで最大規模の支援を展開しました。



© WFP/Arete/Fredrik Lerneryd

# 資金が 不足しています

2022年国連WFPは141億米ドルの資金を調達することができました。しかし、これは必要とされた額214億米ドルに対し、73億米ドル不足しています。この資金不足により、国連WFPの現地職員は支援対象者の選択や支援量の削減など、苦渋の決断を迫られています。

不足額 **73** 億米ドル

必要額 **214**億米ドル

調達額 141 億米ドル スリランカ

# 未曾有の経済危機に苦しむ 母親や子どもへ大規模支援

1948年の独立以来最悪の経済危機に見舞われている スリランカでは、インフレや穀物生産の減少、異常気 象、ウクライナ戦争の余波などから、人口の約30%に あたる600万人以上が食料不足に陥っています。国連 WFPは340万人に食料支援をすることを目標に、食 料・現金・食料引換券の提供を開始。また、学校給食 支援を通じて100万人の子どもに、そして栄養強化食 品を提供する政府プログラムを通じて100万人の妊 娠・授乳中の母親と幼児に手を差し伸べています。



© WFP/Arete/Ruvin Da Silva

価格の

高騰

紛争

より、食料や燃料が大きく高騰し、武装組織による暴力も増加しています。経済活動や輸送、公共サービスもままならなくなっており、現在、人口の約半数が急性食料不安に直面していると見られます。2022年、国連WFPは160万人以上の人びとに緊急支援をしました。

ハイチ

混乱する人びとへの緊急支援と

社会基盤の強化をサポート

ハイチでは何年にもわたる自然災害や政治的混乱に

また、小規模農家、災害リスクの低減、学校給食などのサポートを通じ、国の社会保護と食料システムを強化することにも注力し続けています。



© WFP/Theresa Pio

# 11年間で1,300万人が難民に 国内外で継続的に食料支援

シリア

2011年から紛争が続くシリアでは、過去11年間(2022年時点)で国内外に避難した人が1,300万人を超え、多くが今なお帰郷できていません。そしてウクライナ戦争が、食料価格の高騰に苦しんでいた人びとに新たな打撃を与えました。国連WFPはシリア危機を最大の重要事案の一つととらえ、国内外の難民に食料、現金、それらに引き換えられる電子カードの提供、生活向上支援などを行いました。ただ、2023年2月にトルコ・シリア地震が起こり、支援の必要性は一層高まっています。



© WFP/Jessica Lawson

イエメン

# 前例のないレベルの飢餓に対し 1,530万人に食料支援

イエメンは紛争による経済危機と通貨安、さらにはパンデミックやウクライナ戦争の影響で、前例のないレベルの飢餓にあります。人口の約半数近くの1,700万人以上が食料不安にあり、また子どもの栄養不良率においても世界最悪のレベルです。国連WFPは、2022年にイエメンに対して世界で最大規模の緊急対応を実行し、1,530万人を対象に食料支援をしました。ただし、資金不足によって依然として困難な状況に置かれています。



WFP/Hani Musayed

# 国連WFPの支援実績と主な活動

2022年は

# 123の国と地域1億6,000万人に

480万トンの食料を届けました。

国連WFP協会からの寄付送金国 | ■ 学校給食支援 ■ 緊急支援 ■ 母子栄養支援 ■ 小規模農家支援 国連WFPの支援実施国 (2023年4月時点) キューバ 学校給食支援 30,000,000円 カーボ・ベルデ 学校給食支援 32,980,856円 ガンビア 緊急支援 32,130,625円 ギニアビザウ 学校給食支援 3,750,000円 エクアドル 全世界 学校給食支援 ギニア 13,071,998円 母子栄養支援 35億7,515万 42,500,000円 緊急支援 27,500,000円 リベリア 6,948円 学校給食支援 63.995.827円 ガーナ 学校給食支援 30,000,000円 中央アフリカ 母子栄養支援 61,463,233円 WFP国連世界食糧計画への送金額の国別内訳 アジア **7**% 学校給食支援 緊急支援 1億4,050万4,260円 アフリカ 9% 4% **50**% 4,307万1,998円 7,045万4,886円 0 2億3,785万3,967円 中東 総額 4% 4億7,902万841 20億6,853万 8,502万795円 5.550円 円 アフリカ ヨーロッパ 南米 41% 84% 1% 1億9,809万4,876円 17億4,505万5,609円 2,750万0000円

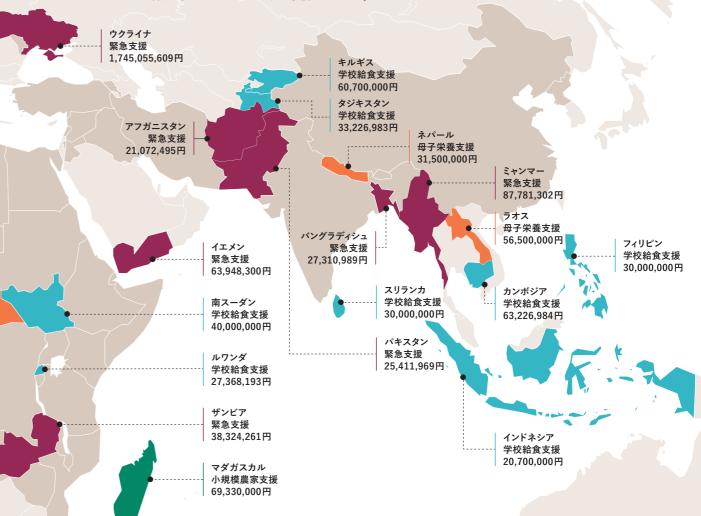
国連WFPが活動している世界123の国と地域のなかでも、日本の民間の皆様からの支援を必要としている国やプロジェクト、ご支援者の皆様の ご指定に合わせた国、特にウクライナ戦争、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって緊急支援を要している国や地域に送金しました。

# SDGsの基盤となる目標2「飢餓をゼロに」の達成に向けて

「持続可能な開発目標 (SDGs: Sustainable Development Goals)」は、「貧 困をなくそう|「飢餓をゼロに|「質の高い教育をみんなに|など、2030年ま でに達成すべき17の国際社会の共通目標をまとめたものです。国連WFP は、目標2「飢餓をゼロに」が他の目標達成の基盤にもなるとの考えのもと、 パートナーシップを通じて活動し、全てのSDGsの達成に貢献しています。







## 「確かに届ける」ために

皆様からの

ご寄付

けます。

寄付金は、国連WFP協 年中無休で受け付 会を経由してWFP国連 けています。クレジャ 世界食糧計画ローマ本 にてご寄付いただ

輸送コストを可能な限り 抑えると同時に途上国 の農業を振興するため に、食料は原則として近 陸地域から購入します。



船やトラック、航空機を 使用して食料を輸送し ます。



**モニタリング** 支援を必要としている人びとに確実に届けています。

食料が確実に到着し、 保管されているかチェッ クします。倉庫内の食料 管理も怠りません。



女性・子どもをはじめ支 援を必要とする人びと へ確実に届けています。

# 飢餓から救う。

**SAVING LIVES** 

国連WFPは、紛争や自然災害などの緊急時に食料や 輸送・通信を支援しています。私たちが何十年にもわ たって積み上げてきた緊急事態に対処するための知見 は、国連WFPの行動指針に基づいた「支援計画の立案」 「緊急支援への備え・対応」の両方に活かされています。









#### 2022年支援実績



# マグニチュード5.9の大地震で 被災した1万8,200人を支援

**一 アフガニスタン** 

2022年6月、アフガニスタン東部でマグニチュード5.9の地震が 発生。1,000人以上が死亡し、3,000人近くが負傷、数千もの家 屋が崩壊しました (WHO: Afghanistan - Earthquake - Situation Report No. 12) 。同国はもともと何十年にもわたる戦争、干ばつ、経済停滞の影 響で、人口の半数近くが飢餓に苦しんでいました。国連WFPは、 直ちに緊急物資を積んだトラックを被災地域へ派遣。地震発生 から5日後までに1万8,200人に高カロリービスケットや小麦粉、 塩、植物油、豆などの食料を支援しました。また、食料を備蓄す るための簡易倉庫を被災した3ヵ所に設置しました。



関連するSDGs











# モンスーンの被害を受けた 310万人へ支援

― パキスタン

2022年6月から始まったモンスーンの豪雨で大洪水が発生し、 国土の約1/3が水没。洪水では過去最悪の3,300万人が被災 し、パキスタン政府は国家非常事態を宣言しました。国連WFP は、2023年1月までに被害の甚大な4州・310万人に対し、緊急 食料支援と現金支援を実行。19万9.000人以上の子どもと22 万1,000人の妊産婦の女性には、栄養価の高い食料を提供。ま た、人道支援のサプライチェーンに混乱が起きないよう、政府 の物流能力の強化も支援しました。



関連するSDGs











### WFPアフガニスタンのシェリー・タクラル氏

アフガニスタンは、数十年にわたる紛争、長年の干ばつ、パンデ ミック、そして深刻な経済危機に見舞われていました。そこに訪れ た今回の地震で、同国のリソースは大きく逼迫しています。私たち は国際社会に対し、アフガニスタンを忘れずに、助けを切実に必要 とする同国の人びとを支援し続けてくださいと訴えています。 59



# 輸送通信支援

2022年支援実績

39<sub>5</sub>1,000<sub>A</sub>

# 大規模な噴火と津波を受けた 被災地を支援

― トンガ

2022年1月に太平洋で発生したフンガトンガ・フンガハアパイ 海底火山の噴火によって島国トンガは火山灰に覆われ、ほとん どの地域で通信が不通に。この噴火は同国にとって過去30年 間で最大級のもので、トンガ政府は非常事態宣言を発令しまし た。国連WFPは、海底ケーブルの修理に必要な機器の配備も 含め、緊急通信と物資輸送の専門集団を通じて通信、電話、イン ターネットの復旧を支援。また、甚大な影響を受けた農作物、 家畜、漁業に関するニーズの聞き取りと優先順位の調査を実施 しました。



関連するSDGs









# 支援物資を効率的に届けるため 輸送トレーニングセンターの設立を開始 **―**ガーナ

国連WFPは大手民間企業と連携し、ガーナのアクラに輸送ト レーニングセンターの設立を開始。この施設は年間最大400名 に無償でオンラインや実地トレーニングを提供するもので、西 アフリカ地域の人道支援組織、政府関係者、民間セクターのス タッフを含む研修生に陸上輸送、車両管理、温度変化の影響を 受けやすい物資輸送などのノウハウを共有します。物流の専門 知識と輸送レベルの向上は、西アフリカ全域の脆弱なコミュニ ティに国連WFPが緊急・復興支援をする際の重要なサポート にもなります。



関連するSDGs









# 国連WFPサプライチェーンディレクターのアレックス・マリアネリ氏

**66** この2年間で、サプライチェーンの強靭性がいかに重要であるか を目の当たりにしてきました。この輸送センターは、西アフリカにおけ る強固なサプライチェーンの構築に向け、重要なステップとなります。 国連WFPは、西アフリカでの長年の活動による知識と経験を共有し、 専門家の最新の知見を提供できることを楽しみにしています。 >>



# 未来を救う。

**CHANGING LIVES** 

国連WFPは緊急的な「人道支援」だけでなく、持続的な 「開発支援/自立支援」も担っています。途上国の地域 社会と協力して女性や子どもの栄養状態の改善や強い 社会づくりに取り組んでいます。





# 学校給食支援

**School Feeding** 

2022年支援実績



2,000万人

# 地元の食材を使った学校給食で 食料不安の家庭と農家を支援

**一フィリピン** 

フィリピン南部のバンサモロ・ムスリム・ミンダナオ自治区 (BARMM)にあるビサン小学校は、少し前まで子どもたちのにぎ やかな足音が聞こえる日と、そうでない日がありました。

大きな理由の一つは、食料不安です。BARMMでは数十年にわ たる紛争がコミュニティを後退させ、さらに気候危機が追い打ち となり、飢餓と栄養不良が深刻な問題になっています。政府によ れば同地区の45%の子どもが発育阻害で、この数字は世界で最 も高い割合となります。

そのような中で国連WFPはBARMM政府と密接に協力し、食料 の確保・入手と、生計維持の機会創出を支援しています。2022年、 同地区のタリサワでは「『ファーム・トゥ・スクール (農場から学校 へ) 』給食パイロットプロジェクト | がスタート。現在ビサン小学校 の100人の子どもには、地元の食材を使った健康的で栄養価の 高い食事が提供されています。これによって以前に比べて子ども たちが学校に来るようになり、活気も増しています。

米や野菜、鶏肉などの食材は、自治体が地域の農家から調達。 野菜をたっぷり使った栄養満点の献立は、地元の保健師や栄養 士が協力して作成し、調理はボランティアの保護者が担当してい ます。地元の役人、農家、専門家、保護者が一体となった学校給 食は、まさに地域ぐるみの取り組みです。子どもたちは健康的で 持続可能な食事を楽しめ、地元農家は確かな収入源を得られま す。国連WFPは、こうした地元食材を使った学校給食の規模拡 大を、フィリピン全土で支援しています。

### 関連するSDGs















### VOICE



## 村の教師、メアリー・ジーンさん

66学校には、朝食も夕食もとらず、一番最 近の食事は前日の昼食という子どもたち がいました。そのため授業では手を挙げ る気力すらなく、頭も下がったままでした。 そんな状況が給食プロジェクトで大きく変 わりました。子どもたちは喜んで授業に参 加するようになり、エネルギーにあふれ、 学校は活気を取り戻しました。

# 母子栄養支援

2,820万人

# 3.000万人に拡大する急性栄養不良児 その治療と予防を包括的に支援

**一イエメン** 

イエメンの南東部、タイズ県のバスマ・モフィードちゃんは、生後 数か月で病気になり、急激な発熱と口内炎を発症。他の多くの子 どもたちと同様、急性栄養不良でした。

イエメンでは長年にわたる紛争、経済危機、ウクライナでの戦争 の影響などから飢餓が深刻化し、5歳未満の子どものほぼ半数 にあたる約220万人と、130万人の妊産婦が急性栄養不良に直 面。タイズ県でも、栄養豊富な食料を手頃な価格で確保すること や、医療サービスへのアクセスがますます困難になっています。 そのような中でバスマちゃんは幸いにも、国連WFPが支援する 保健クリニックで急性栄養不良の治療を受け、1歳になった頃に は元気に成長し、歩けるようになりました。

国連WFPは、2022年にこうした致命的な栄養不良に苦しむ世界 中の約2,000万人の幼い子どもと母親の治療・予防を支援。さら には子どもの栄養不良のチェック、栄養支援、乳幼児の母乳育児 の促進を含む幼児のケアと給食、栄養価の高い食品の生産・加 工・販売など包括的にサポートしました。

一方、紛争や気候危機、食料・燃料価格の高騰、拡大する人道的 資金の不足などによる課題が山積しています。急性栄養不良は、幼 い子どもたちに持続的かつ時に致命的な影響を与える世界的な危 機であり、最も深刻な影響を受けた15ヵ国では、急性栄養不良児 は3,000万人に拡大しています。これに対処するには、他の諸機関 と連携しての包括的でグローバルなアクションが不可欠です。







#### イエメンに住むモハメド・マヒョーブくん VOICE



66 重度の急性栄養不良と診断された彼 は、国連WFPの栄養プログラムに登録さ れ、栄養保健クリニックで治療と予防のた めの補助食品を毎月受け取っています。 そこでは定期的なチェックとフォローアッ プもあわせて実施されます。「クリニック では補食と薬をもらえるので、子どもは元 気になります」とお母さん。



# 未来を救う。

**CHANGING LIVES** 



2022年支援実績

# 地下水を利用した点滴灌漑システムで

ペルーの北海岸の沿岸に広がるセチュラ砂漠では、もともと飲料 水が手に入らず、栄養価の高い食べ物も乏しく、高価でした。野 菜を栽培できる時期は限られ、栽培できなければ遠方の州都で 買うしかありません。そのように何百もの家族がその日暮らしで 生活していました。

ヤさんも、タマネギやパパイヤといった野菜と果物を生産してい ます。アマヤ夫妻は収穫物の一部を自分たちのために取ってお き、残りを自宅前の露店や、国連WFPが支援する地元のオーガ ニックファーマーズマーケットで販売。その売上で、バランスの良 い食事に必要な魚や肉を買うこともでき、生活の質が向上したと 話します。

こうした農家が今では約250軒を数えます。そのうち約4割が余 剰分も生産し、それを販売することで利益を得ています。

# 関連するSDGs













# 砂漠での有機野菜栽培を支援

そのような中で国連WFPが支援したのが、地下水を活用した「点 滴灌漑システム | の設置です。これによって地域の住民は共同貯 水池を通じて地下水にアクセスできるようになりました。

同地のポシトス村で暮らすマリア・マヤンガさん家族も、その一 例です。井戸から水を得られるようになり、今では有機農法でブ ロッコリー、トウモロコシ、カイグア、ニンジン、ビーツ、レモン、ア ルファルファ、トマト、レモングラス、コリアンダー、ラディッシュ、 ミント、パセリ、キマメなどの豆類と、多様な野菜を栽培。これに よってマリアさん家族は無添加で健康的な野菜を手軽に食べら れるようになりました。

リンコナダ・リクアルに4.8ヘクタールの農場を持つノエミ・アマ

990万人



#### VOICE



## 野菜を作るマリア・マヤンガさん

66国連WFPが支援してくれたおかげで野 菜を自分たちで作れるようになりました。 子どもたちは必要なビタミンやミネラルを 摂取でき、私たちは資金不足に悩まされ ることもありません。家畜を育てて食べる こともできます。将来的には灌漑システム のポンプを動かすためのソーラーパネル を設置し、燃料を買う必要がないようにも したいです。

99

# Interview

世界最貧国の一つと言われている 南スーダンは、 紛争や政治ガバナンス、 教育環境など問題が

山積しています。



Interviewee



山下 美由紀

自立支援プログラムに参加した女性が 子どもを学校に通わせられるようになった時には いつも励まされ、心を動かされます。

2011年に独立した南スーダンは、紛争や政治の問題 によって経済的な発展が遅れており、現在、世界最貧 国の一つと言われています。2022年はウクライナ戦争 の影響による商品価格の上昇と現地通貨の切り下げ があったほか、国内各地で紛争が続き、加えて同国に あるアフリカ最大の沼地・スッドや他の河川で2020年 以降連続して発生した洪水、さらに新型コロナウイル ス感染症によって家庭やコミュニティの回復力が弱 まっており、2023年には人口の約8割にあたる940万 人(去年より+50万人)の支援が必要になると予想さ れます。

私たちは自立支援、小規模農家支援、学校給食、都市 セーフティネットの4つのプログラムの調整に携わって います。主な課題は、適切かつ可能な場所で、人道支 援から自立支援への切り替えを助けることです。具体 的に行っていることは、国連WFP内およびパートナー 機関とのプログラム統合、栄養に配慮したプログラム と食料システムのアプローチ、国家機関への技術支援 の強化などです。

私がいつも励まされ、心を動かされるのは、夫を亡くし た女性や一夫多妻制の家庭の女性、夫が失業中の女 性、紛争で夫と別居している女性などが、私たちの自 立支援プログラムに参加することで家庭の食料状況 や栄養状態が改善し、子どもを学校に通わせられるよ うになった時です。ジェンダー平等は簡単ではないと 理解していますが、南スーダンのような貧困と紛争に 見舞われた国では、学校給食は女子児童にとって、学 校に通い続ける大きなきっかけとなります。

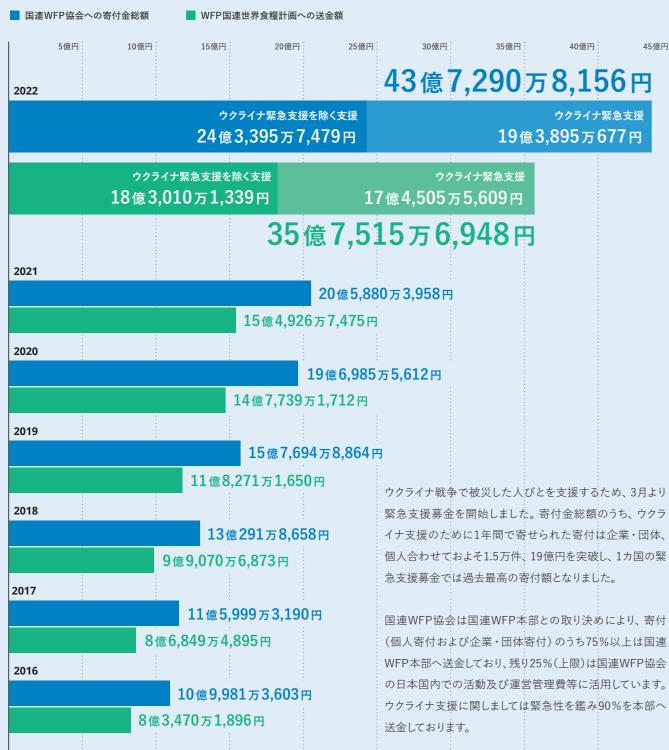


# 国連WFP協会の取り組み

日本からの支援の手が続々と。どんどん広がる思いやりのご支援。

# 国連WFP協会の寄付金と送金額の推移

17 / 国連WFP協会 年次報告書2022



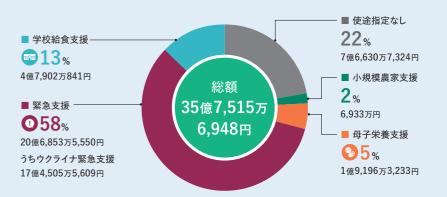
# 国連WFP協会への 寄付金総額の内訳

2022年度、国連WFP協会に寄せられた企業・団体、個人の皆様からのご寄付は過去最高の約43.7億円となりました。そのうち19.4億円がウクライナ緊急支援へのご寄付で、企業・団体からは食品業界のみならず、IT、自動車、運輸業など幅広い業種の企業200社以上から16.1億円の寄付が寄せられました。



# WFP国連世界食糧計画への 送金額の内訳

国連WFP協会が日本の皆様からお預かりし、WFP国連世界食糧計画に送金した寄付額は約35.8億円となりました。そのうちの約7.7億円は、"誰も取り残さない"という方針のもと「使途指定なし」として送金し、国連WFPが最も資金を必要とする支援活動に活用させていただきました。



voice

同年代の子が苦しむのを 見すごせず 心ばかりのおこづかいを 寄付します

15歳の未熟な中学生ですが、少しでも誰かの役に立ちたいという強い思いからウクライナへの緊急支援寄付にいたりました。同じ年ごろの子どもたちが苦しむ現状を、見て見ぬふりはできません。今すぐ世界に平和を。そんな思いから心ばかりのおこづかいを寄付します。(10代 匿名)



<u>voice</u>

世界の子どもたちが 笑顔になるために 支援を継続して いきたいと思います

食品商社に勤務し、食品・食料の輸入に日々携わっています。食品ロスの問題がある一方で、飢餓に苦しむ人びとがいる現実を歯がゆく思い、マンスリー募金での支援を始めました。世界の子どもたちが笑顔で「いただきます」「ごちそうさまでした」「おいしかった」と言うのを聞くために、ハチドリの一滴ですが継続していきたいと思います。(菱沼 雅久様)



国連WFP協会 年次報告書2022 / 18

voice

ひとりでも多くの 子どもたちに ごはんを 食べさせてあげたい

私には孫が3人います。どの子も幸せそうな笑顔でまるまる太り、親の愛の中で育っています。世界ではこのような環境にない子どもの方が圧倒的に多いことを知り、ひとりでも多くごはんを食べさせてあげたいと、寄付にいたりました。(60代 匿名)

# 国連WFP協会とは

特定非営利活動法人国際連合世界食糧計画WFP協会(国連WFP協会)は、飢餓をなくすことを使命にする国連唯一の食料支援機関であるWFP国連世界食糧計画の、日本における公式支援窓口です。WFP国連世界食糧計画の活動はすべて、各国の政府の拠出金や、企業・団体、個人などの寄付金でまかなわれており、国連WFP協会は、民間を対象とした募金活動や、企業・団体

との協力関係の推進、広報活動を通してWFP国連世界食糧計画の活動を支えています。また、日本においては、「国連WFP」という総称を用いて、国連機関であるWFP国連世界食糧計画と、それを支援する認定NPO法人である国連WFP協会という2つの団体が協力して活動を行っています。国連WFP協会は、1999年に設立され、2005年より「認定NPO法人」に認定されています。

所の拠出金や、企業・団体、個人などの寄付金でまかなわれてお 体が協力して活動を行っています。国連WFP協会は、1999年に り、国連WFP協会は、民間を対象とした募金活動や、企業・団体 設立され、2005年より「認定NPO法人」に認定されています。

# 日本国内で広がる支援の輪 身近なところでもたくさんのイベント

# ~アスリートがつなぐ未来への希望~を テーマに「SDGs写真展」を開催

2022年6月1日~6月14日開催

「SDGs写真展」は、SDGs(持続可能な開発目標)の普及を目的に、横浜髙島屋 で開催されたサステナブルなライフスタイルを提案するプロモーション 「TSUNAGU ACTION」の企画の一つとして実施。幅広い競技で活躍するアス リートたちが思いをストレートに伝え、各自の取り組みをパネルで紹介しました。 この写真展に協力したアスリートとチームの写真は8作品。撮り下ろしたのは新 進写真家のまゆみ瑠衣氏。各々の取り組みを通じて、私たちが直面する数々の 課題への関心の高まりと解決へのアクションの必要性を訴えました。

#### 参加アスリート

見延 和靖 東京2020五輪フェンシングエペ団体 金メダル 小谷 実可子 ソウル1988五輪アーティスティックスイミング ソロ/デュエット 銅メダル

北京2008五輪アーティスティックスイミング 出場

- 北京2008五輪バドミントン 出場

横浜B1バスケットボールチーム(横浜ビー・コルセアーズ)

阿波野 秀幸 元プロ野球選手(近鉄・巨人・横浜)投手

横浜F・マリノス(J1サッカーチーム)

横浜DeNAベイスターズ(プロ野球チーム)





# 女優の杏さんが 親善大使に就任

2022年7月、女優の杏さんが国連 WFPの親善大使に就任し、日本に おけるアドボカシー活動に協力して いただくことになりました。記者発 表で杏さんは「今日この場に立たせ ていただき、より一層気が引き締ま りました。少しでもより良い未来を 作っていくために私に何ができるの か、さまざまな活動を通して考えて いきたいです。そして、私たちにも 何かができるということを伝えてい きたいです」と話しました。





小椋久美子選手

YouTube

https://youtu.be/t4dBMm2btQc



# アフリカ開発会議(TICAD8) 公式サイドイベント開催

#### 2022年8月23日開催

チュニジアで開催される「第8回アフリカ開発会議(TICAD8)」に先 立ち、公式サイドイベント「アフリカにおける食料安全保障と国連 WFPの活動-民間企業とのパートナーシップの未来-」を実施しま した。経済キャスター・国連WFP協会理事の小谷真生子さんが司 会を務め、国連WFPの焼家直絵日本事務所代表、東アフリカ地域 局長らが登壇、親善大使の杏さんがメッセージ出演。アフリカにお ける食料安全保障の課題や、国連WFPの支援活動、コミュニティー の強靭性や自立性を高める開発支援の重要性について議論すると ともに、民間企業の役割や国連機関との連携について考えました。



小谷真生子さん 国連WFP協会理事



焼家直絵 国連WFP 日本事務所代表

国連WFP親善大使 ©lunko Tamaki(t.cube)

ΑD





ACジャパン広告で 1食の支援から 未来は変えられる ことを呼びかけ

2022年度のテーマは「最初の一粒」。7月から1年間、テレビ・ラジオ CM、新聞、交通広告などに展開しました。おいしいものを不自由なく食 べることのできる日本、その一方で感染症や気候危機、紛争の影響で「最 初の一粒」も手に入らない子どもが世界にはたくさんいるという事実を 伝えることで、世界の飢餓問題を身近に感じてほしい、という願いを込め て製作しました。ナレーションは女優の杏さんが担当し、力強く優しさの こもった声で世界の現状を伝えました。

# おいでやすこがと学ぶ 世界の食料問題

11.26 **±** 15:00-16:30 参加費無料 YouTube配信













# Will For Peace ~おいでやすこがと学ぶ 世界の食料問題~」を開催

#### 2022年11月26日開催

ジャーナリスト・キャスターの堀潤さんを司会に、人気お笑いユニット のおいでやすこがさんと、世界の飢餓や食料問題について学ぶオンラ イントークイベントを実施しました。また、エチオピアで働く日本人職員 とリアルタイムでつなぎ現地の様子を知るとともに、私たちの生活と世 界の飢餓問題はどうつながっているのか、食料支援が平和への道にど うつながっているのか、私たちは何ができるのかを考えました。



https://youtu.be/wjeJKelds9I



# 外部イベントにブース出展

他団体主催のイベントにブースを出展し、パネル展示やチャリティー グッズ販売などを通じて、来場者に国連WFPの活動を紹介しました。

- ●グローバルフェスタJAPAN2022 2022年10月1日(土)~2日(日) 主催: 外務省、独立行政法人国際協力機構(JICA)、特定非営利活動法人国際協力NGOセンター(JANIC)
- ●ワールド・コラボ・フェスタ2022 2022年10月22日(土)~23日(日) 主催:公益財団法人愛知県国際交流協会(AIA)、独立行政法人国際協力機構中部センター(JICA)、 なごや国際交流団体協議会(NIA)
- ●東京都食育フェア 2022年11月12日(土)~13日(日) 主催:東京都







# 子どもたちに給食と笑顔を届けよう! WFPウォーク・ザ・ワールドを 3会場で開催

2022年5月15日(日) 横浜みなとみらい地区 2022年5月29日(日) 大阪万博記念公園 名古屋会場 2022年6月12日(日) 鶴舞公園

「WFPウォーク・ザ・ワールド」は、途上国の子どもたちの飢餓をなくすために 実施しているチャリティーウォークです。参加費の一部は国連WFPの学校給 食支援に役立てられ、皆様の一歩が子どもたちの栄養と希望を支えます。新 型コロナウイルス感染症の影響によって2022年度は3年ぶりの開催となりまし た。横浜、大阪に初開催の名古屋会場を加え3会場で実施し、寄付額は408

万1,240円となり、約13万 6,000人の子どもたちに給食



# **応募総数**

年 全国から 6,160 通 2<sub>万</sub>3,090<sup>通</sup>

日清食品ホールディングス株式会社 株式会社三菱UFJ銀行

#### 寄付協力:

日清食品ホールディングス株式会社 三菱商事株式会社



# WFPチャリティーエッセイコンテスト 「わけあおう!わたしの幸せごはん」

#### 募集期間:2022年7月1日(金)~9月2日(金)

1作品につき給食2日分(60円)が寄付協力企業から国連WFPの学校給食 支援に寄付される仕組みです。今回は「わけあおう!わたしの幸せごはん」 をテーマに、「ごはん」を通してみんなと分かち合いたい思い出や幸せ エピソードを募集しました。2022年度の応募総数は過去最高の2万3.090 通となり、約4万6,180人の子どもたちに給食を届けることができました。

2022年 特別審査員





おいでやすこがさん ©Seita Hirota

©YOSHIMOTO KOGYO CO., LTD. 撮影:篠山紀信

#### 名古屋会場



#### 特別協賛:

構 近·DSM株式会社

日清食品ホールディングス株式会社 株式会社ファミリーマート

大 阪: 日清食品ホールディングス株式会社 株式会社ファミリーマート

名古屋: トヨタ自動車株式会社

日清食品ホールディングス株式会社 株式会社ファミリーマート

株式会社クレハ 2022年度は、

4,543人が参加し、 特別協替: ಕ್ಕು 13万6,000人の

給食を届けることができました



「途上国の飢餓問題を考える機会に」と企画された本コンテストは、応募



竹下景子さん

国連WFP協会親善大使

# 「#ごちそうさまチャレンジ」開催! SNS投稿でSDGsに貢献!

これまでのゼロハンガーチャレンジを [#ごちそうさま チャレンジ」にリニューアル。食品ロス削減につなが る取り組みだけでなく、料理を食べ切った後の"ごち そうさまポーズ"も対象投稿に追加しました。「#ごち そうさまチャレンジ#ゼロハンガー|を付けてSNSに 投稿すると、1投稿につき120円(学校給食4人分)が 寄付協力企業から国連WFPに寄付されます。寄付対 象アクションは11万6.188件、約29万5.680人の子ど もたちに給食を届けることができました。

#### スペシャルサポーター:

日清食品ホールディングス株式会社 明治ホールディングス株式会社

ハウス食品グループ本社株式会社

寄付対象アクション総数



**型クレラップ50 型クレラップ** 

**プレラップ** 

ごちそうさまでした!

#ごちそうさまチャレンジ

#ごちそうさまチャレンジ

#ごちそうさまチャレンジをつけて アクションを投稿するだけで 子どもたち4人の食料支援に!





おいしくてぺろりと完食しちゃい #ごちそうさまチャレンジ

余ってしまったご飯は冷凍し ておいて、次回はチャーハン に!パラパラで美味しい! #ごちそうさまチャレンジ

学校給食支援数

29万5,680人

クレハの 取り組み

# 母子栄養支援のSNS寄付キャンペーンとあわせて 「#ごちそうさまチャレンジ |を応援

11万6,188件

株式会社クレハは、国連WFPの母子栄養支援のためのSNS キャンペーンを実施しました。これは「NEWクレラップ | を使った 食材の保存テクニックをハッシュタグ 「#ラップで保存テク」を付 けてSNSに投稿などをすると、その数に応じてクレハが国連 WFPに寄付をするというものです。また、クレハは同タグを活用 しながら「#ごちそうさまチャレンジ」にも協賛・寄付し、国連WFP 協会の企画を盛り上げました。

# 株式会社クレハ

# 包装材事業部 企画·管理部 山本様

NEWクレラップで食材をおいしく保存し、残さず食べ きることで食品ロス削減に貢献したいという思いから、 「#ごちそうさまチャレンジ」への参加と「#ラップで保存テ ク」キャンペーンを実施し、多くの方々にご参加いただく ことができました。今後もNEWクレラップをはじめとする 弊社商品を活用した食品の保存方法など、食品ロス削 減に関する発信を続けてまいります。

# 企業・団体からのご支援

# さまざまな方法を通じて、ご支援いただいています。

### ご寄付

**1 商品・サービスを** 売上に応じて、一定額を「学校給食支援」にご寄付いただく 「レッドカップキャンペーン | へのご参加→p25参照



# 2. お客様とともに

### 募金箱やネット決済

# 店頭での募金箱の設置や寄付募集サイトの運営

コネクシオ株式会社/株式会社大創産業/日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社/ 一般社団法人日本フードサービス協会/株式会社ファミリーマート/ヤフー株式会社/ 株式会社ローソン など

### ポイントやカタログ

クレジットカードやポイントカードのポイントを用いたご寄付 カタログギフトで商品の代わりに寄付の選択肢を設ける方法

株式会社エポスカード/株式会社髙島屋/三井住友カード株式会社/リンベル株式会社 など

### 物品の買い取りと換金

ご家庭に眠る本や商品券などの買い取り金額をご寄付

株式会社バリューブックス/TMコミュニケーションサービス株式会社

# 3、株主様とともに

# 優待品に代わって「国連WFPへの寄付 |を選択肢に設ける方法

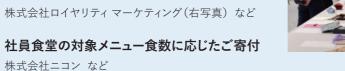
カンロ株式会社/キッコーマン株式会社/株式会社クラレ/新晃工業株式会社/ 株式会社中村屋/日清食品ホールディングス株式会社/日本ハム株式会社/ 日本証券業協会 など

# 4. 社員とともに

### 給与天引きや募金

株式会社中村屋/株式会社三菱UFJ銀行 など

バザーを開催した際の売り上げによるご寄付 株式会社ロイヤリティマーケティング(右写真) など



### 「WFPウォーク・ザ・ワールド」の参加案内や自主開催

参加費の一部が学校給食支援になる「WFPウォーク・ザ・ワールド(p21) |への参加を社内に周知 いただく方法や、開催日時や場所を独自に設けてイベントを実施する自主開催という方法もあります。 社員の社会貢献活動として、また健康経営増進として多くの企業にご活用いただいています。

2~4は、寄付の使途を「緊急支援」「学校給食支援」「母子栄養支援」「指定なし」から選択可能であり、 会社・団体の方針に沿ってご寄付いただけます。

# 啓発・チャリティ イベントへのご支援

「WFPウォーク・ザ・ワールド (p21) | 「WFPチャリティーエッ セイコンテスト(p21) |「#ごちそ うさまチャレンジ(p22) |の運営 は協賛企業・団体によるご支援 で実施できています。

また、「WFPチャリティーエッセ イコンテスト」「#ごちそうさま チャレンジ | の寄付は、寄付協 力企業・団体によるご支援で実 現しています。

### 評議員

評議員は、評議会において、1社(者)1票の議決権を有す当協会の正会員 (NPO法上の「社員」)です。年会費20万円はWFP国連世界食糧計画への 支援活動を行う当協会の運営経費に充当されます。2022年12月末時点で 424社・団体が加入しています。

https://ja.wfp.org/corporate/councillist



# 国連WFPコーポレート プログラム

3年間で一定額のご寄付をいただくことで、継続的に国連WFPの活動を ご支援いただいています。→p27参照

#### 支援企業の声

# 日清シスコ株式会社 マーケティング部 広報・販売促進課 風野様

当社のサステナビリティ活動の一つに「国内・国外に向けた貧困支援」を掲げています。SDGs の推進が当然になっている世の中の状況と、社長の後押しもあり、「レッドカップキャンペーン」 をはじめとした国連WFP協会のプログラムに参加しています。どれも企業が参加しやすい企画であ り、私のように一人でサステナビリティを推進している企業にとっては大変ありがたい仕組みです。 「レッドカップキャンペーン」をはじめ、国連WFP協会の数々の企画は、小額から支援できる点も 魅力で、当社のような中小規模の企業には参加しやすいポイントでした。

# 企業の社会貢献活動や社員啓発としての活動をお手伝いしています。 気軽にご相談ください。

- ・飢餓問題や国連WFPの活動を紹介する講演会
- ・イベントへの国連WFP協会ブースの出展
- ・冊子やチラシの提供
- ・パネルや募金箱の貸し出し

# 詳しくはWebサイトへ

https://ja.wfp.org/request\_for\_tools





#### 商品・サービスを通じて

# 「レッドカップキャンペーン」 毎日のお買物で学校給食を支援

国連WFPが給食を入れる容器として使っている赤いカップを目印に、「レッドカップキャンペーン | に賛同する企業・団体からキャン ペーンマークのついた商品が発売されています(2022年、59社・団体が参加)。対象商品を購入すると、その売り上げの一部が企業・ 団体から寄付されます。2011年から2022年までに2,400万人以上の子どもたちに学校給食を届けました。



#### 参加企業・団体一覧 ※2023年5月時点

#### 食品・加工食品



株式会社





一學食品



株式会社



日清シスコ



株式会社







株式会社

株式会社

湖池屋

日清食品冷凍



山陽ハイクリーナー

株式会社

MDホールディングス



株式会社

株式会社





ベビースター

Cant.

株式会社

おやつカンパニー

いりゴマ

株式会社







株式会社

ニコン

カンロ

プリマハム

マルイ食品 株式会社

# 食品・生鮮食品



アサヒ飲料

株式会社



共立食品



こと京都



全国農協食品 株式会社





株式会社 タナカバナナ



トップ卵 株式会社



外食·体験

株式会社 **ABC Cooking Studio** 



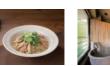
株式会社サガミ ホールディングス



株式会社 シーライン東京



TOHOシネマズ 株式会社



株式会社 ポポラマーマ



株式会社 リロバケーションズ

# 日用品雑貨

0 2-35Lo



株式会社



株式会社



中山福 株式会社



株式会社





株式会社村内

株式会社

#### ファッション



アドヴェンチャー ホールディングス株式会社



イトキン 株式会社



株式会社 グラム



株式会社



株式会社

その他

エスコート交通 株式会社



株式会社 サンピア



東亜道路工業

株式会社





株式会社

ブレインファーム



名鉄観光サービス

株式会社



メディアス

ホールディングス株式会社

横浜市



株式会社

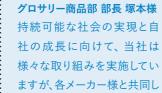
河本総合防災

株式会社

支援企業の声

コーヒー豆の生産国の多くは、国連WFPの支援 対象国です。そこで、コーヒーメーカーとして、次 世代を担う子どもたちに幸せな未来を届けるた めに「レッドカップキャンペーン」に参加していま す。取引先からは、子どもの支援になることへの 高い関心とともに、豆の生産地と国連WFPの支 援先との関連性に対しても共感されています。

## 小売店 イオン九州





お客様に認識してもらうため、店舗従業員の理解のもと、さまざまな媒 体で告知するとともに、陳列しました。

### 参加企業 三本珈琲

#### 食品安全 開発研究本部 小野寺様

25 / 国連WFP協会 年次報告書2022 国連WFP協会 年次報告書2022 / 26



株式会社





株式会社





株式会社

ロッテ





3年間で一定額のご寄付をいただくことで、 継続的に国連WFPの活動をご支援いただいています。

パートナー (3年間で1,500万円のご寄付)







株式会社カネカ

宗教法人 松緑神道大和山

日清食品ホールディングス株式会社









日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社

株式会社ファミリーマート

株式会社林原

サポーター (3年間で600万円のご寄付)





伊藤忠商事株式会社

日本生活協同組合連合会

#### コントリビューター (3年間で300万円のご寄付)



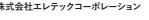




株式会社Q'sfix

伊藤忠リーテイルリンク株式会社 伊藤忠リーテイルリンク株式会社

株式会社エレテックコーポレーション







ベターボー人協会

一般財団法人ベターホーム協会

三菱商事株式会社

伊藤忠プラスチックス株式会社

# 2022年に100万円以上のご寄付をいただいた企業・団体の皆様

※お客様や社員からの募金やポイント寄付を含みます。

多くの企業・団体の皆様からご寄付いただきました。 皆様からの温かいご支援に、心よりお礼申し上げます。

・アークシステムワークス株式会社 ・キッコーマン株式会社 ・アサヒ飲料株式会社 キャンベルジャパン株式会社 ・株式会社あじかん ·株式会社O'sfix ・キユーピー株式会社 ・味の素株式会社 ・アセットマネジメントOne ·共立食品株式会社 株式会社 ·株式会社協和 アドヴェンチャー ・キリンホールディングス株式会社 ホールディングス株式会社 株式会社クボタ

株式会社アドバンテスト 株式会社クラダシ ・アメリカン・エキスプレス・ 株式会社クラレ インターナショナル.Inc. 株式会社アルトナー ・アルビス株式会社 ・株式会社イーカムグループ

・いすゞ自動車株式会社 ・コネクシオ株式会社 · 板橋区役所前診療所 ・株式会社サガミホールディングス ·株式会社 一榮食品 佐久商工会議所 ・井筒まい泉株式会社 · 三共生興株式会社 伊藤忠アーバンコミュニティ

株式会社 伊藤忠商事株式会社

伊藤忠セラテック株式会社 伊藤忠テクノソリューションズ 株式会社

· 伊藤忠都市開発株式会社 伊藤忠プラスチックス株式会社

· 伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社 ・伊藤忠リーテイルリンク 株式会社

伊藤忠ロジスティクス株式会社 伊藤ハム米久ホールディングス

・江崎グリコ株式会社 ・株式会社エポスカード

株式会社

・株式会社エレテック コーポレーション

・王子コンテナー株式会社 ・生活協同組合おおさか

パルコープ 大阪よどがわ市民生活

協同組合 ・株式会社オフィス・ カラーサイエンス

・株式会社おやつカンパニー

・カゴメ株式会社 株式会社カスミ ・かどや製油株式会社

· 株式会社金井電設 株式会社カネカ

・カルビー株式会社 · 株式会社河本総合防災

·協同組合 関東給食会 ・関東総業株式会社

・カンロ株式会社

FOR TWO International ・天台宗 一隅を照らす運動

株式会社電材ホールディングス 東亜道路工業株式会社

東海農産株式会社 ·東都生活協同組合

株式会社クレハ ·株式会社湖池屋 · 凸版印刷株式会社

国際ソロプチミスト金沢 ・こと京都株式会社

・サントリーホールディングス 株式会社

株式会社サンピア ·SHIONOGI社会貢献支援会

株式会社GF 株式会社ジェーシービー

ジャンボパーキング株式会社

株式会社商船三井 ·宗教法人 松緑神道大和山 昭和産業株式会社

· 宗教法人 净土寺 · 新晃工業株式会社 · 株式会計真誠

真如苑 株式会社スリーケー

· 3909合同会社 宗教法人「生長の家」 ・株式会社セブン&アイ・

フードシステムズ ・株式会社セブン&アイ・

ホールディングス ・株式会社センチュリー21・ ジャパン緊急支援金口

· 泉南乳業株式会社 · 全国農協食品株式会社

・ソシオークホールディングス 株式会社

株式会社大創産業 · 大日本印刷株式会社 ·大和証券株式会社

·株式会社髙島屋 ・宝ホールディングス株式会社

株式会社タナカバナナ · 株式会社 DINOS

CORPORATION

·特定非営利活動法人TABLE

総本部地球救援事務局

・トーヨーエイテック株式会社

東洋製罐グループ ホールディングス株式会社

・トップ卵株式会社

·株式会社内藤建築事務所 株式会社中村屋

中山福株式会社

医療法人なごみ ・株式会社なとり 株式会社ニコン

株式会社ニチレイ · 日清食品株式会社

日清食品ホールディングス

株式会社 日清食品冷凍株式会社

・株式会社日清製粉グループ 本社 株式会社ニッスイ

· 日東宮十製粉株式会社 株式会社ニップン

· 日本電気株式会社 ・日本ハム株式会社

一般社団法人 日本救急看護学会 一般社団法人

日本給食品連合会 · 日本共産党中央委員会

日本ケンタッキー・フライド・ チキン株式会社

·日本証券業協会 · 日本食品化工株式会社

· 日本水産缶詰輸出水産業組合 · 日本生活協同組合連合会 ·日本製紙株式会社

· 日本農産工業株式会社 ·一般社団法人

日本フードサービス協会 · 一般社団法人 日本冷凍めん協会

日本労働組合総連合会

·株式会社野口食品 ハウス食品グループ 株式会社パナホーム兵庫 ・ハニューフーズ株式会社

·株式会社林原

・株式会社ハローデイ ホールディングス 平沢運輸株式会社

・株式会社ファイネット ・株式会社ファミリーマート

・株式会社フォスター・プラス 不二製油グループ本計

株式会社 ・プリマハム株式会社

・ブルドックソース株式会社

株式会社ブルボン 株式会社プレーリードッグ

・一般財団法人ベターホーム協会 ・株式会社ベネフィット・ワン

・ポケットカード株式会社

株式会社永谷園ホールディングス・ほけんの窓口グループ株式会社 株式会社ポポラマーマ

·公益財団法人

毎日新聞東京社会事業団 Mastercard Japan

・マルイ食品株式会社 ·丸眞株式会社

・マルハニチロ株式会社

・三井住友カード株式会社 ·三菱商事株式会社 · 三菱食品株式会社

・株式会社三菱UFJ銀行 ·株式会社三菱UFJ銀行

社会貢献基金 ・三菱UFJニコス株式会社

· 宗教法人 無二亦寺 ・株式会社村内ファニチャー

アクセス 株式会社明光ネットワーク

ジャパン

・明治ホールディングス株式会社 株式会社モリサワ

· 有楽製菓株式会社 株式会社ユニーク

・株式会社リアルト・ハーツ ・リンベル株式会社

· 立正佼成会 一食平和基金

· 立正佼成会 佐倉教会 レンゴー株式会社

・株式会社ロイヤリティ マーケティング

株式会社ローソン ・株式会社ロッテ

株式会社ワコウ

# 2022年度決算報告

# 活動計算書

2022年1月1日から2022年12月31日まで

科目				金額(単位:円)
I 経常収益				
	1	受取会費		85,130,000
	2	事業収益		29,008,566
	3	受取寄付金		4,372,908,156
	4	受取助成金等		268,119,500
	5	その他収益		5,103,137
経常収益計				4,760,269,359
Ⅱ 経常費用				
	1	事業費	(1)人件費	78,661,906
			(2)その他経費	4,435,899,082
			事業費計	4,514,560,988
	2	管理費	(1)人件費	12,352,011
			(2)その他経費	23,298,028
			管理費計	35,650,039
経常費用計				4,550,211,027
Ⅲ 経常外費	用計	ŀ		
	当期経常増減額 税引前当期正味財産増減額 法人税、住民税および事業税		210,058,332	
			210,058,332	
			74,500	
	当其	胡正味財産増減額		209,983,832
	前	胡繰越正味財産額		371,091,867

※「1事業費(2)その他経費」には寄付金支出が含まれます。

次期繰越正味財産額

# 賃借対照表

2022年12月31日現在

CIE VISI		202	22十12/131日70日
4目			金額(単位:円)
資産の部			
L流動資産		現金預金	989,652,815
		未収金	170,269,519
		商品	1,261,220
		貯蔵品	2,379,600
		前払金	988,535
		流動資産合計	1,164,551,689
2 固定資産	(1)有形固定資産	什器備品	2,378,891
		建物付属設備	7,432,518
		有形固定資産合計	9,811,409
	(2)無形固定資産	商標権	0
		ソフトウェア	8,220,680
		無形固定資産合計	8,220,680
	(3)投資その他の資産	投資有価証券	57,899,500
		差入保証金	931,000
		投資その他の資産合計	58,830,500
	固定資産合計		76,862,589
資産合計			1,241,414,278
負債の部			
L 流動負債		未払金	656,403,668
		未払法人税等	74,500
		前受金	200,000
		預り金	2,376,311
		未払消費税等	1,284,100
		流動負債合計	660,338,579
	負債合計		660,338,579
Ⅱ 正味財産	の部		
		前期繰越正味財産	371,091,867
		当期正味財産増減額	209,983,832
	正味財産合計		581,075,699
負債及び正明	<b>味財産合計</b>		1,241,414,278

# 活動における法令や指導等の遵守

国連WFP協会では飢餓問題の最新状況のご 案内とご寄付のお願いを目的に、関連各所の 指導・許可を受け「駅前や商業施設などでの 街頭キャンペーン」を、また個人情報の保護に 関する法律(個人情報保護法)を遵守し「ダイ レクトメール (DM) の送付」を実施いたしてお ります。より多くの方に支援の輪をひろげるた めに、ご理解とご協力をお願いいたします。

# 情報公開と監査報告

581,075,699

国連WFP協会は、法人の監事が内部 監査を行うとともに、監査法人に依頼 して外部監査を受けています。事業報 告書や財務諸表および財産目録は、 所轄庁である横浜市に提出され、また Webサイトにも掲載されています。





# 役員一覧

敬称略 五十音順 ※2023年4月1日現在

会長	安藤 宏基	日清食品ホールディングス株式会社 代表取締役社長・CEO
理事	忍足 謙朗	WFP国連世界食糧計画 元アジア地域局長
同	折茂 美保	株式会社ボストン コンサルティング グループ マネージング・ディレクター&パートナー
同	小谷 真生子	経済キャスター
同	小林 文彦	伊藤忠商事株式会社 代表取締役 副社長執行役員 CAO
同	鈴木 邦夫	特定非営利活動法人国際連合世界食糧計画WFP協会 専務理事
同	判治 孝之	日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社 代表取締役社長
同	本田 亮	クリエイティブディレクター/環境マンガ家
同	松江 勝美	公益財団法人横浜市国際交流協会 元常務理事
同	焼家 直絵	WFP国連世界食糧計画 日本事務所 代表
監事	樫谷 隆夫	公認会計士・税理士
同	齋藤 史郎	社会福祉法人横浜市社会福祉協議会 顧問

# 国連WFPを応援する著名人



杏さん 国連WFP親善大使 俳優 ©Junko Tamaki(t.cube)



ÜSΑἐλ 国連WFPサポーター パフォーマー



竹下 景子さん 国連WFP協会親善大使 俳優 撮影:篠山紀信



三浦 雄一郎さん 国連WFP協会親善大使 プロスキーヤー・冒険家

# 2022年にご支援くださった著名人



柳田 悠岐さん 学校給食支援 福岡ソフトバンクホークス 所属野球選手



広瀬すずさん ウクライナ支援 女優 撮影:半沢健



ふなっしーさん

紙面の関係から要約版といたしました。 詳細は当協会Webサイトにてご覧いただけます。 https://ja.wfp.org/jawfp-annual-report



国連WFP協会 年次報告書2022 / 30 29 / 国連WFP協会 年次報告書2022





SNSでも情報を配信しています。

国連WFPストーリーズ https://ja.wfp.org/stories







o wfp\_japanoffice / jawfp\_official



■ 国連WFP



今号より、より良い年次報告書を提供することを目的としてアンケートを実施することになりました。 つきましては、ご多忙中恐れ入りますが、左記の二次元バーコードからアンケートにお答えいただき、率直なご意見・ご要望・ご感想をお聞かせください。 ※アンケートの回答は統計的に処理され、特定の個人が識別できる情報として公表されることはございません。

## 国連WFP協会

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1 パシフィコ横浜6F ◎ 0120-496-819 受付時間 9:00~18:00(通話料無料・年始を除く年中無休) 公式ホームページ https://ja.wfp.org/





